

The image shows a vertical banner with large, bold, stylized text. On the left side, the Japanese characters 'おもちゃ箱' (omocha-bako) are written vertically in black with white outlines. On the right side, the English words 'FROM HELLO' are written vertically in red with blue outlines. The background of the banner features a photograph of a playground with various colorful structures like slides and climbing frames under a clear sky.

ラクゼンボ

袋とじ

人類で最も餅つきが似合う
ヤスノリ園長

いつもと変わらぬ光景 ただ銀が青になつたのは・
ハーネスアダム。二年前、登場して、銀星は登場せず、

誰も一言も発しない光景
まずありえない光景



豆が効かない田代スタイルを貫く

少しショックだった。二年前から登場していた銀鬼は登場せず、スタンダードな青鬼に変更されていったからだ。銀鬼は宇宙人を連想させ怖すぎるからやめてほしいという保護者側からのクレームか？それとも鬼は赤と青であるという常識をすり込ませておくべき教育面での配慮か？そもそも鬼は赤や青だったのかすら知る者はいない。角も1本や2本だったのかも定かではない。とはいってもそれらの要素はあつたのだとは思う。私の推測だが、本来鬼は薄紫がかつた肌の色をしており、激おこ状態になると若干赤みがかつて変色すると考える。空想上赤と青が存在するのは目撃した者によつて、その場面によつて異なるためだ。角は全鬼1本と決まつているが、鬼にやられそうになり意識もうろうとしていた村人Aの視界が二重にぼやけ鬼の角が2本に見え、後に救出された村人Aが病院のベッドの上で「あの鬼は角が2本じやつた・」と間違つた情報を口にしてしまつたため2種類の鬼が空想上存在する事になつたのだと思う。という想像を踏まえ今回の豆まきを見ているとおかしな点に気づく。青鬼が子ども達を激おこ状態で追いかける・・・おかしい。
激おこだから赤でなければならぬ止してほしいという思いだろう。いつもの通り十五分間の鬼無双で豆攻撃も効きやしないから逃げるかないし謝るしかない。十五分間耐えたからといつてこれで終わりではない。第2ラウンドは公開説教が行われ心臓を握り潰されそうな恐怖を味わう事となる。鬼から指名されたくない園児たちは皆うつむき、「呼ぶなよオーラ」を出しまくるが「呼ぶなよオーラ」を出しているから余計に鬼に気付かれて泣きべそかきながら説教を食らわなければならなかつた。この日は先生方も巻き込まれ、出した物を片づけられた。いつも一言多いなどのリアルな素行を暴露され説教されない、ちょっと不思議に思う事がある。園児は鬼の正体がC&T先生である事は既にわかっているにもかかわらず、なぜ本物の鬼を相手にするかのように怯え泣き叫ぶのだろう？もしかするとその先生そのものに怯えているのではないのか？鬼のコスプレをせずとも素の恰好で追いかけまわしても同じ状況を作れるのではないのか？ここは一つ検証の意味でも次回やってみてほしい。たぶん笑えないとても恐ろしい十五分間となるだろう。



これまでのイケてなかった部分を正すための儀式「公開説教」だ。園児はその場に立つとなかなか言葉を発せず、頭が斜めに傾く現象が起こる。この子達が社会に出た時、会社で同じような場面に出くわした際は頭を斜めにせず、上司の目をしっかりと見て反省するようになってほしい。そうすれば説教相手によっては目を見るだけで反いいだろう。



は30分早く終わる。
省は特にしなくても

きりん組の子ども達は いちねんせき 奉園迫る 327